

# 扁桃炎

睡眠不足、疲労、かぜなどによる免疫力の低下により、口蓋扁桃が細菌やウイルスに感染して、炎症を起こした状態を急性扁桃炎といいます。



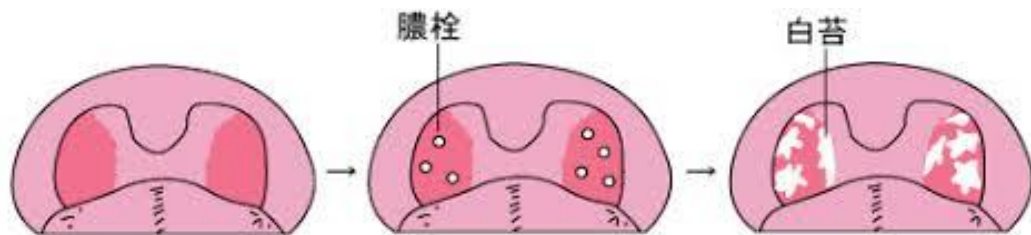
## 症状

急性扁桃炎の身体症状としては、発熱やのどの痛み、全身倦怠感、首のリンパ節の腫脹などがあります。

局所の所見としては、両側の扁桃腺の発赤、腫脹、扁桃の表面にある陰窩というくぼみに膿がたまる膿栓のうせんや膿が表面に付着して白苔はくたいと呼ばれる状態になります。

重篤化すると炎症が周囲に波及し扁桃周囲炎や扁桃周囲膿瘍へんとうしゅういのうようといった状態になり、強い症状のため入院が必要になります。

また、原因が溶連菌ようれんきんの場合、発疹がみられることがあります（これを猩紅熱しょうこうねつといいます）。また、急性糸球体腎炎きゅうせいしきゅうたいじんえんやリウマチ熱といった、免疫異常による疾患を併発することもあります。



## 習慣性扁桃炎（しゅうかんせいへんとうえん）

急性扁桃炎を年に数回繰り返すのを、習慣性扁桃炎といいます。扁桃に細菌が巣くっている状態です。習慣性扁桃炎は、掌蹠膿疱症しょうせきのうほうしょうという手足に難治性の湿疹が出る病気や、IgA腎症アイジーエーじんしょうという慢性腎炎の原因となります。これを病巣感染症びょうそうかんせんしょうといいます。

## 内科的薬物治療

扁桃炎の原因菌が細菌の場合は、抗菌薬による治療が行われます。また、痛みや発熱がある場合は、非ステロイド性消炎鎮痛剤により症状を和らげます。

ウイルス性の場合是对症療法が中心となります。



## 外科的治療

習慣性扁桃炎や扁桃病巣感染症では、症状を改善させるために扁桃を摘出する手術が行われます。手術は全身麻酔下で行い、1時間前後で終了します。

### 習慣性扁桃炎の手術適応

年6回以上扁桃炎を起こす場合、  
もしくは年4回を2年間、  
もしくは年3回を3年間

